2009 年度 小委員会活動成果報告

（2010 年　1 月　29 日作成）

小委員会名	歴史的建築リスト整備活用小委員会	**主 査 名**：池上 重康 **就任年月**：2007　年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	建築歴史・意匠委員会	**委員長名**：谷　直樹 **主 査 名**：
設　置　期　間	2007　年　4　月　～　2011　年　3　月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	・検索および更新可能なインターネット上の歴史的建築データベースの維持管理。また、データベース自体の時代の要求に応じたシステム更新の検討。 ・支部、大学、研究機関、自治体などとの人的ネットワークの構築。 ・災害時の基本台帳、あるいは地域における生涯学習の基礎資料としての利活用を考慮に入れたシステムおよびリストの整備、ならびに、地域の専門家・一般住民の参加プログラムの策定。	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：有	
	池上重康（北海道大学） 永井康雄（山形大学） 川向正人（東京理科大学） 山中章江（東京理科大学） 西和彦（文化庁） 前村敏彰（日本実業出版社） 亀井靖子（日本大学）	兼松紘一郎（兼松設計） 二村悟（工学院大学） 山崎幹泰（金沢工業大学) 玉田浩之（京都工芸繊維大学） 足立裕司（神戸大学） 砂本文彦（広島国際大学） 木方十根（鹿児島大学）
設置 WG （WG 名：目的）		
2009 年度予算	200,000 円	**ホームページ公開の有無**：有 **委員会 HP アドレス**：：http://GLoHB-ue.eng.hokudai.ac.jp/

項　　目	自己評価
委員会開催数	2　回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	
大会研究集会	1．建築歴史・意匠部門研究協議会　　参加者数　80 名 「歴史的建築リストの可能性～学会・行政・市民との連携に向けて～」
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1.データベースのシステム構成の更新、ならびに、地方自治体との協同をはかることを研究課題として採択された科学研究費（基盤(B)）をもとに、上記、研究協議会を開催し、データベースの改良について検討した。 2.研究協議会で討議された付加情報（画像・位置など）について検討した。 3.データベースの一般公開に向けて、各種ポリシーの策定を行った。 4.データベースシステムの刷新を行った（2009 年度末完了予定）。 5.建築学会関連保存要望書等検索システムを構築した。
委員会活動の問題点・課題	1.データベースの一般公開に向けて各種ポリシーを策定したが、実際に運用が始まって、はじめて問題点が浮き彫りにされることと思う。 2.学会側の対応を含めて、上記問題を解決していかなくてはならないだろう。

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。